

## 定期テストで100点を取るには

開倫塾

塾長 林 明夫

### 1. はじめに

そろそろ各中学校、高等学校で中間試験が行われる学校が多いと思います。そこで今日は、中間試験をはじめ学校の定期試験でどのようにしたら百点満点が取れるようになるのかというお話をさせていただきます。

### 2. 定期テストで100点を取るには

百点満点を取るやり方は、それほど難しくありません。とにかく学校の教科書をスミからスミまで覚えてしまえばいいということです。ただ、スミからスミまで覚えるといっても、少し段階がありますので、その段階に沿ってお話します。

(1)最初は、学校の教科書に書いてある内容がよくわからなければいけませんので、教科書を一文字一文字丁寧に(ていねい)に読んでいただいて、よくわからない語句とか単語、つまり「ことば」をなくすことです。教科書に書いてある内容を「理解」することが大切です。一文字一文字、これはどんな意味かなということ、全ての科目について学校の教科書の一文字一文字を丁寧に丁寧に理解していくことをお願いしたい。そのときに、理解できないときには辞書とか参考書とか授業中に取ったノートを見ながら、思い出しながら、これはどんな内容だったかをよく「理解」してください。また、辞書の引き方、参考書の使い方がわからないと困りますので、辞書の引き方もぜひマスターしてください。参考書もぜひ一冊各科目ごとに買っていただいて、ちょっとわからないところがあったら辞書がわりに引いてみる。どうしてもわからなければ、学校の先生とか、学習塾に行っている方は学習塾の先生とか、お友だちとか、よくわかっている方にお聞きするといいかもしれません。そうすることによって、「うんなるほど」とよく理解してください。

(2)次は、そのよく理解した内容については、スミからスミまで全て覚えることはとてもためになります。どんなふうに覚えるかということ、最初は大きな声を出して教科書を丁寧に「音読練習」する。これが一番効果的です。読んでいるうちに、「うんなるほど」というようにもう一回ももっとも深く理解できる場合もあります。もしかしたら音読をしながら中味が身にしみてわかるということもあります。これは、音読を5回、10回、20回、30回と大きな声でゆっくりゆっくり読んでみてください。数学、理科も含めて全ての科目、英語とか国語とか社会はもちろんですけれども、全ての科目について音読することをお勧めします。

(3)音読をし終わったら、今度は書く練習です。書けなそうな語句や単語を「書き取り練習」してください。英語の単語、数学の語句、国語、社会、理科全てです。テストというのは書き取りという形で出ますので、書けなければ点になりません。書き取り練習をしてください。書き取りの練習をするときは、学校の教科書の書体、つまり楷書といいますが、よくわかる書体で書く練習

をしてください。そのとき、「書き順」を、ぜひ正確な「書き順」を覚えてください。もし「書き順」がわからなかったら、辞書を調べれば書き順が出ている辞書がありますから、ぜひ書き順が出ている辞書を使って書き順を覚えてください。

- (4) 数学などは、問題を見た瞬間に答えが出るのが一番いいです。ただ、そのときも、例えば  $2 \times 3 = 6$  という計算なら、2 に 3 をかけるとは何かということをよく「理解」した上で 6 という答えが出たほうがいいわけです。「 $a + a$ 」の答えは「 $2a$ 」ですが、 $a$  に  $a$  をたすと 2 つの  $a$ 、 $2a$  になるということの意味は何かということをよく「理解」した上で問題を解いてください。何回くらい解けばいいのか。ふつう、最低でも同じ問題を 5 ~ 6 回は解かないと、なかなか問題を見た瞬間にパッと答えは出ませんので、5 ~ 6 回くらい同じ問題を繰り返し繰り返しやってください。問題を見た瞬間にパッと答えが出る。条件反射でパッと答えが出る。計算問題がある科目については、問題を見た瞬間にパッと条件反射で答えが出るまで計算問題練習をぜひしてください。
- (5) 教科書の内容を音読することによって「うなるほど」とよくわかる。音読をすることによって深くわかる。よく書けなそうな単語が出たら、書く練習をする。最終的には、計算問題も見た瞬間に答えがパッと出るようにする。こうしていただければ、誰でも定期テストで 8 割から 9 割くらいは取れます。
- (6) 最後の百点満点の 1 割をどんなふうにまとめるかということ、できれば何も見ないで教科書に書いてあることをスミからスミまですらすら書けるようにすると、だいたい百点が取れます。テスト範囲について教科書に書いてあることをスミからスミまで何も見ないで、理科とか、数学、国語、実技科目についても全部すらすら書ける。そうすれば、もう間違いなく 100 点が取れます。そんなことができるかということですが、20 歳過ぎの方は少し難しいかもしれませんが、10 代の方は記憶力が非常にいいので、精神を集中すれば全て覚えることはできなくはありません。

### 3. おわりに

- (1) 学校の定期テストで 100 点を取ることは難しくはないのです。
- (2) 教科書やノートのスミからスミまで「うなるほど」とよく「理解」することが第一。「ことば」の意味がわからなかったら、辞書や参考書を用いて調べる。先生にもお聞きすること。
- (3) よく「理解」したら、次に「3 大練習」つまり「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」で、スミからスミまで確実に身に付ける。これだけで、ほとんどの科目は 100 点が取れます。
- (4) ただ、ここまでやるのには時間がかかりますから、準備だけは、早目早目にする。試験の直前になって慌ててやっても 100 点は取れません。
- (5) 予想問題をするのは、これらが全て終わってからです。「理解」もしていないのに、また、よく覚えてもいないのに、予想問題をしないこと。これも大切な勉強方法です。

- 8 月 5 日加筆 -